

照査者	設計者

令和7年度

漏水修理等に伴う路面復旧工事設計書

工 事 番 号		施 工 年 度	
工 事 名 称	漏水修理等に伴う路面復旧工事		
工 事 場 所	鶴岡市大広地内他		
施 工 主		工事概要 路面復旧工事 94箇所 713.60㎡ (鶴岡市全域) 鶴岡地域 61箇所 408.55㎡ 羽黒地域 6箇所 69.18㎡ 櫛引地域 8箇所 90.61㎡ 朝日地域 7箇所 72.37㎡ 温海地域 3箇所 18.78㎡ 藤島地域 8箇所 50.61㎡ 三川地域 1箇所 3.50㎡	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名			
積 算 担 当	上下水道部 水道課		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

第 1号

配水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	291.15			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
舗装版破碎積込(小規模土工)		m ²	292.37			
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	m ³	28.64			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準					
上層路盤	t=150mm、1層施工、M40	m ²	186.64			
	全仕上り厚:t=150mm 施工区分:1層施工					
上層路盤(県道N4)	t=150mm、1層施工、M40	m ²	4.32			
	全仕上り厚:t=150mm 施工区分:1層施工					
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³)、土砂(岩塊・玉)	m ³	28.64			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:15.0km以下					
再利用土砂(改良土)	コン指数≥800KN/m ²	m ³	28.64			

第 1号

配水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(小規模土工) 、有り、15.0km以下	m ³	15.12			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:15.0km以下					
アスファルト塊処分費		m ³	15.12			
不陸整正	無し	m ²	102.01			
	補足材料の有無:無し					
表層(市道①)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm 以下)、t=50mm	m ²	258.07			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度アスコン(13F)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層(市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm 以下)、t=30mm	m ²	7.4			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン(13F)					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
基層(市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm 以下)、t=40mm	m ²	7.4			

第 1号

配水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層 (町道)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=50mm	m ²	3.5			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度アスコン (20F)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層 (N4)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=30mm	m ²	24			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン (13F)					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
基層 (N4)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=40mm	m ²	24			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
現場密度試験 (上層・下層)		式	1			
殻運搬 (濁水)	舗装版破碎、機械積込(小規模土工) 、有り、24.0km以下	m ³	0.35			

第 2号

給水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	437.38			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
舗装版破碎積込(小規模土工)		m ²	421.23			
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	m ³	34.98			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準					
上層路盤	t=150mm、1層施工、M40	m ²	194.85			
	全仕上り厚:t=150mm 施工区分:1層施工					
上層路盤(県道N4・N5)	t=150mm、1層施工、M40	m ²	23.84			
	全仕上り厚:t=150mm 施工区分:1層施工					
上層路盤(歩道部)	t=150mm、1層施工、M40	m ²	20.36			
	全仕上り厚:t=150mm 施工区分:1層施工					
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³)、土砂(岩塊・玉)	m ³	34.98			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					

第 2号

給水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	DID区間の有無:有り 運搬距離:15.0km以下					
再利用土砂 (改良土)	コン指数 \geq 800KN/m ²	m ³	34.98			
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(小規模土工) 、有り、15.0km以下	m ³	23			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:15.0km以下					
アスファルト塊処分費		m ³	23			
不陸整正	無し	m ²	140.63			
	補足材料の有無:無し					
表層 (市道①)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm 以下)、t=50mm	m ²	294.76			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度アスコン (13F)					
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3					
表層 (市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm 以下)、t=30mm	m ²	17.41			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン (13F)					

第 2号

給水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
基層 (市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=40mm	m ²	17.41			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層 (歩道部・市道乗入)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=50mm	m ²	7.51			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生細粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層 (歩道部・県歩道)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=30mm	m ²	17.2			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生細粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					
表層 (歩道部・県歩道乗入)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=50mm	m ²	2.8			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度アスコン (20F)					
	瀝青材料種類:フライムコート PK-3					

第 2号

給水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層 (N4)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=30mm	m ²	59.95			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン (13F)					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
基層 (N4)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=40mm	m ²	59.95			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン (13)					
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3					
表層 (N5)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=50mm	m ²	21.6			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:密粒度アスコン (20F) II型 (改質アスファルトII型)					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
基層 (N5)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、t=50mm	m ²	21.6			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生粗粒度アスコン(20)					
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3					
現場密度試験 (上層・下層)		式	7			

第 2号

給水施工

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬 (濁水)	舗装版破碎、機械積込(小規模土工) 、有り、24.0km以下	m3	0.55			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:24.0km以下					
舗装版切断 濁水処理費		m3	0.55			
区画線工-溶融式(手動)	実線 15cm (ペイント厚1.5mm)	m	6			第 2号単価表
区画線工-溶融式(手動)	実線 30cm (ペイント厚1.5mm)	m	6			第 1号単価表
歩車道境界ブロック	再利用設置、C種(180/210×300×600))、無し、無し	m	1			
	作業区分:再利用設置 ブロック規格:C種(180/210×300×600) 基礎碎石規格:無し					
	均し基礎コンクリート規格:無し					
交通誘導警備員A		人	1			
交通誘導警備員B		人	62			
計						

路面復旧標準仕様書

受注者は下記の事項を遵守し、工事を施工すること。

1. 工事実施にあたっては、安全かつ円滑な交通を確保するため道路を良好な状態に保ちながら維持補修すること。(必要に応じ誘導員、交通整理員を配置すること。)
2. 工事区間内で事故防止のため、やむを得ず臨機の処置を行う必要がある場合は、速やかに監督職員に報告・協議すること。
3. 工事時期は、交通量を考慮し、雨の日、気温が低い日となるべく避けて作業すること。
4. 舗装合材の種類、影響範囲、舗装厚、施工方法については、道路管理者の指示による。
5. 舗装版剥ぎ取り後の上層、下層路盤はタンパ等で十分締め固めを行うこと。
6. 瀝青材散布は一般通行車、各所構造物に飛散させないよう所定の量を均一に散布すること。
7. アスファルト合材は敷きならし後、加熱しながら振動ローラー、タンパで十分締め固めを行うこと。
8. 特に継ぎ目部分は加熱しながら、コテ、タンパで十分締め固め密着させ、平坦に仕上げること。
9. 亀裂が多い場合は、その部分を切り取って隣接部を施工すること。
10. アスファルト合材の舗装表面が十分冷え切ってから隣接部を施工すること。(約 50°C以下)
11. 道路使用許可書・通行制限書は請負者で申請のうえ、許可後に工事を施工すること。
12. 工事写真は各工事現場毎 1 部提出すること。
13. 施工する箇所を確認し、周辺住民及び店舗等に施工日、施工方法を事前に周知すること。
14. 県道舗装版切断カッター作業は、作業当日に行うこと。また、舗装版切断時の濁水は、カッターの濁水回収機構やスポンジ等で回収し、周辺への流出を防ぐこと。
15. 本工事により発生する建設発生土は 15 km 以内の運搬を想定しており、運搬・処理については受注者の責任において適正に行わなければならない。
建設発生土受入地については、土砂運搬工着手までに発注者が決定する。設計計上した運搬距離と差異が生じた場合は変更協議の対象とする。
16. 週休 2 日確保工事
 1. 本工事は月単位の 4 週 8 休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休 2 日確保工事である。実施にあたっては、鶴岡市建設工事「週休 2 日確保工事」実施要領に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
 2. 受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、月単位の週休 2 日または完全週休 2 日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。
 3. 受注者は、週休 2 日または完全週休 2 日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、建設工事請負契約約款第 22 条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。

4. 受注者は、やむを得ない理由で休日に作業を行う場合は、振替休日を設定し、事前に発注者に協議する。なお、完全週休2日においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。
5. 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿で実施状況を協議すること。協議にあたっては、次の各号に掲げる書類を提示しなければならない。
 - (1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料
 - (2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類
6. 発注者は、当初積算において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費補正を行っているため、実際の現場閉所状況に応じた経費の補正を設計変更にて行うものとする。
7. 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。
8. 発注者は、週休2日確保工事において、月単位の4週8休以上の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を受注者の求めに応じて発行するものとする。
9. 受注者は、工事名表示板に月単位の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



(図) 工事標示板への明示の例

17. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2 作業依頼の配慮

- (1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。

- (2) 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。
- (3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3 ワンデーレスポンスの再徹底

- (1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4 留意事項

- (1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限を確認し、合意を図る。
- (2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

報告書類内訳

- ・ 完成通知書
- ・ 出来形数量計算書（発注者の指定する様式）
- ・ 着工前写真
- ・ 下層路盤転圧状況写真
- ・ 上層路盤転圧状況写真（影響範囲及び仕上げ厚が確認できるもの）
- ・ 瀝青材散布状況写真
- ・ アスファルト合材締め固め状況写真
- ・ 完成写真
- ・ 交通誘導員配置状況写真

